



成長をふり返ろう ～体の成長・心の成長～

(3月1日全校朝会 校長講話より 抜粋)

1月は行く、2月は逃げる、3月は去る、と言われるように、三学期は過ぎて行くのが早いものです。今年度最後の月、3月になりました。今日は皆さんの「成長」について考えます。

1月に身体測定がありました。皆さんの身長はどれくらい伸びましたか？人によって差がありますが、なんと1年間に10cmも伸びた人もいます。6年生はどうでしょう？小学校に入学してから44cmも身長が伸びた人がいます。大人になると、身長は伸びません。小学生の成長はすごいですね。体が大きくなったことで、できるようになったことも増えたと思います。重いものが運べるようになったり、足が速くなったり、運動が上達したり記録が伸びたり…。できることが増えた自分を、うれしく感じていると思います。

では、心の成長はどうでしょうか？皆さんの心は成長したでしょうか？心が成長して、できるようになったこと、がんばれるようになったこともたくさんあると思います。心の中は目には見えないけれど、心遣いが言葉や行動となって表れます。心は見えないけれども、みなさんの心はグ〜ンと成長したのではないのでしょうか？

一学期の初めに、皆さんは一人ひとり目標を立てましたね。こんな学校にしたい、こんなクラスにしたい、こんな自分になりたい。素晴らしい目標がたくさんありましたよ。いくつか紹介しましょう。「みんなのことを考えて行動する」「最後までやりきる」「思いやりを行動に表す」「どんなことにも挑戦する」等…。どれも「体の成長」のことではなく、「心の成長」のことばかりでした。3月には、ぜひ一年間の自分の成長をふり返ってほしいと思います。



6年生は17日の卒業式、1～5年生は24日の修了式まで残りわずかとなりました。みなさんが大きくはばたく日が近づいてきました。自信を持ってはばたけるよう、最後の一月である3月を大切に過ごしていきましょう。

ご助言ありがとうございました。

学校保健委員会 2月22日(水)

学校三師と育成会役員の方々に来校いただき、蝶屋小学校児童の現状や取組をもとに、健康や成長、体力等について話し合われました。子どもの頃から体を動かす習慣をつけることの大切さが話題に上がりました。委員の方々からは、学校では、休み時間の過ごし方や体育の時間に走る活動を取り入れるなどして、運動の機会を設定すること、家庭においては悪天候等でなければ歩いて登校できるようにすることが大切であるといったご助言をいただきました。

学校安全委員会 3月1日(水)

校区の各町見守り隊代表、美川交番所長、育成会長の皆様に来校いただき、校区の安全や児童の登下校等について、ご意見をいただくことができました。子どもたちから「おはようございます！」の挨拶を返してくれると大変うれしい、横断歩道で一時停止の車に「ありがとう」を伝えるのも大切というお声もいただきました。また、通学路安全要望については、来年度はまちづくり協議会の防災・防犯部会と連携していきたいという意見が出されました。

＜感謝の会＞ ～見守り隊の皆様 ありがとうございます！～

3月1日（水）、3年ぶりに、見守り隊の方々への『感謝の会』を行うことができました。蝶屋校区には、8つの見守り隊が結成されており、毎朝子どもたちの登校を見守ってくださっています。雨や雪の日も、風の強い日も、寒い日も暑い日も……。交通事故や大きなけが、不審者などの事件に巻き込まれることなく、安全に、安心して登校することができるのは、見守り隊の方々のお力添えのおかげです。深く感謝申し上げます。さらに、見守り隊の方々からは、元気もいただいております。毎朝あいさつや声かけをしていただき、とても嬉しい気持ちになったという児童もたくさんいます。

当日は、全校で感謝の言葉を伝え、手紙と絵手紙をお渡ししました。見守り隊の方からは、「あいさつを返してもらえると元気が出ます！」といったお言葉をいただきました。今後とも、よろしくお願いいたします。



＜絵手紙を教わったよ！＞ 2月21日(火) 6年生

感性のびのび体験事業の一環として、今年度も地域の桑原照子さんをお招きして、絵手紙教室を行いました。線の書き方や色づけの方法を教わった6年生は、一人ひとり、誰にどんな絵手紙を描こうかと思いを巡らせ取り組みました。3月1日の感謝の会でお渡しする絵手紙も、一人1枚ずつ、ていねいに仕上げることができました。



イライラ・不安との付き合い方 2月24日(金)2限 6年生

スクールカウンセラーの井元先生に授業をしていただき、自分に合った方法で気持ちをコントロールすることの大切さや方法を学びました。

思春期を迎え、そして中学校進学を前にして、心が不安定になりやすい時期でもあります。ひとりでは、どうしようもなくなったら、誰かに相談することが大切です。力になってくれる人は、必ずみなさんのまわりにいますよ。

